

平成 29 年度 第 1 回大阪府立豊島高等学校協議会 開催記録

開催日時	平成 28 年 6 月 22 日 (木)
場所	豊島高等学校会議室
出席者	委員 芝田氏 (元関西学院大学教授)、大石氏 (財千里文化財団理事兼事務局長)、安藤氏 (本校 PTA 会長)、湯川 裕子 (元大阪府 PTA 協議会)
	校長 羽根 隆 事務局 吉田教頭、福井首席、甲田首席、櫻田事務長、朝田教諭、塩見教諭
校長挨拶	学校の近況報告 ・ 4 月から 6 月までの学校の様子について報告
現状報告と 取組	<p>平成 29 年度学校経営計画について</p> <p>1 めざす学校像 (省略)</p> <p>2 中期的目標</p> <p>1 学力の向上及び自己表現力の育成と授業改善の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力の向上、家庭学習の定着。計画的にバランスを考え宿題を課す。授業中の集中力の向上。一斉講義形式の授業からの脱却。 ・ コミュニケーション力 (他とコミュニケーションする力) 及びプレゼンテーション力 (人前での発表) の向上。肯定率を毎年 1 % アップさせる。 ・ わかる授業、課題解決型の授業の創造。ICT 機器の使用。 <p>2 自らの将来を見据え、夢や希望を叶える進路を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進学実績の向上 ・ 土曜講習 (外部業者による講習)、会議室 (進学特別ルーム) の開放 (週休日も含め自習場所の確保)。視聴覚教室 (アドバンス学習ルーム) を大講義室として利用する。 ・ 難関 8 私大 (関関同立、産近甲龍)、中堅私大の延べ合格者数の向上をめざす。 ・ キャリアデザインの推進 3 年間のプログラムで生徒自らの将来を考える機会を設ける。 <p>3 自主・自立の精神を養い、社会そして世界に繋がる生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通学マナー (規範意識) の向上と挨拶運動の励行に努め、生徒の社会性を育む。 ・ 前年度のクリアできなかった遅刻者数削減の目標値を再び 2000 回で挑戦。生徒の規範意識を高める。 ・ 特別活動・生徒会活動・社会貢献・国際交流を通じて自主・自律の精神を養い、地域社会との繋がりや国際感覚を身に着ける。部活動加入率 73% をめざす。各コースの特徴となる行事を取り入れる。 <p>4 学校全体の課題を共有し、解決に向けての組織づくり。</p> <p>3 本年度の取組内容と自己評価</p> <p>(1) 学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習の定着、双方向性に富む授業、わかる授業・課題解決型の授業の創造 <p>(2) 進学実績の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強合宿の実施 (3 年目)、大学見学バスツアーの実施 (年 2 回)、難関大学の進路実績の伸長。 <p>(3) 自主・自立の精神を養い、社会そして世界に繋がる生徒の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラブ加入率のアップ、国際交流ではオーストラリアモドボリー高校訪問と韓国の慶南女子高校、南山高校が来校予定。 <p>4 新 1 年生アンケート分析 (教頭より)</p> <p>在籍生徒の出身中学所在地は、豊中 40%、箕面 20%、吹田 16%。地元率の高い学校であるので、地元を大切にしなければならない。本校受験理由としては、「制服が気に入った」、「魅力のあるクラブ活動」、「直接豊島高校に来て直接触れた」等であった。</p>

	<p>受験決定の時期は、冬休み前／中学3年の1月から3月が多い。体験入学の数も多い。他校の説明会参加状況についての傾向は変化なし。主に他3校。通学時間も40分以内が73%以上。地元率が高いので交通手段は自転車が一番多い。豊島で一番頑張りたいことは：進学、クラブ活動。</p> <p>進路指導状況（進路部より） 4年制大学希望生徒が上位校のみを受験するという傾向が若干あった。学校として、安易に専門学校や指定校推薦に走らず、最後まで諦めずに受験するよう3月入試まで粘らせている。</p> <p>平成29年度使用教科用図書（検定教科書）の選定方法（教務部より） 選定についての周知を徹底（公平性、公正性、透明性の確保）、発行者との利害関係のない者を選任、また、多数決やこれまでの慣例に縛られない採択方法で決定。</p>
協議及び 質疑・応答	<p>A氏： パソコンありきななので、入学時にパソコンを購入させてはどうか。コンテンツを充実させても、パソコンがない状況では普及しない。</p> <p>A) 道のりは険しいと思います。</p> <p>Q) 京都で急成長した市立S高校では入学時にパソコンを買わせている。購入させるべきである。今ほどの職業でもパソコンを使えないと駄目である。</p> <p>B氏： 大学生でも、使用するのはスマホばかりで、プリンターもなく卒論提出時に苦労する生徒もいる。国の方針も決まっていないが教科書の電子化がどれ位進むかに左右されるだろう。</p> <p>C氏： スマホの使用では書くことがないので、自分で書くことをさせなければならない。</p> <p>A氏： 基礎的な事を身に付けるには反復練習が必要なので、ノートを取ってまとめる事は必要ではないか。Eラーニングと紙のノートは豊島では必要であろう。</p> <p>Q) （行事を頑張りたい生徒が増えた理由は）勉強もできてクラブもできるバランスのとれた学校と感じる。</p> <p>A氏： 学校行事を公開していないのではないか。</p> <p>A) 中学生対象の説明会等で写真・動画等を公開している。ホームページを小まめに更新しておかなければ、受験生には印象が残らない。</p> <p>B氏： （進路の話の中で）生徒が集まらないと言うのは大学と言う意味か、高校という意味のどちらの意味で言ったのか。</p> <p>A) 高校という意味である。本校が普通科になり、倍率が下がった時、私立は新校舎まで建てて大量に入学者を獲得した。豊島の「売り」は、色々な進路希望を持つ生徒を全員しっかりと指導しているということである。</p> <p>Q) アンケートから、公立で最後まで悩んで出願しているという事は、公立も魅力のある学校が多いという事ではないか。私立は今、小学校から創設している時代である。</p> <p>※教科書採択について教務主任の代理の教頭より説明をしたが、質問等はなかった。校正、透明性が保たれた状態で選定することは確認した。</p>